

第1編 衆議院議員総選挙および
最高裁判所裁判官国民審査

第1章 衆議院議員総選挙

1 選挙長および同職務代理者

選挙区	選挙長		選挙長に事故があるとき、又は選挙長が欠けたとき、その職務を代理すべき者	
	住所	氏名	住所	氏名
第1区	北九州市小倉区青葉2丁目11の5	宮崎時春	福岡市西区西新6丁目5番12号	丸山高満
第2区	北九州市若松区浜町2丁目16番9号	松岡常市	北九州市八幡区帆柱1丁目7番3号	堤宣明
第3区	久留米市櫛原町36	高木巖	三井郡北野町金島321	橋本義溢
第4区	北九州市小倉区産川町26の3	谷川宮太郎	北九州市小倉区城野4丁目5番41号	壬生義助

2 立候補者に関する調

第1区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候補者								
			ふり 氏名	がな 名	性別	本籍	住所	生年月日	所属党派	職業	
1	昭和47年 11月20日	本人	もり 森	たきん 田 欽	じ二	男	福岡県甘木市 大字千手 600 番地	福岡県甘木市 大字千手 600 番地	大正6年 12月11日 (満55才)	自由民主党	農業
2	昭和47年 11月20日	本人	い (本名)	やま 山 諫	ひろし 博	男	福岡市中央区 大名2丁目25 1番地	福岡市中央区 大名2丁目10 番20号	大正10年 12月5日 (満51才)	日本共産党	弁護士
3	昭和47年 11月20日	本人	ないとう (本名)	内藤	たけのぶ 武宣	男	福岡市中央区 大名1丁目71 5番地の1	福岡市中央区 大名2丁目2 番2号	昭和13年 7月17日 (満34才)	無所属	団体役員
4	昭和47年 11月20日	本人	なら (本名)	ぎき 崎 弥	のすけ 之助	男	福岡市博多区 中呉服町75番 地の2	福岡市東区馬 出西本町1037 松寿館アパー ト	大正9年 4月11日 (満52才)	日本社会党	団体役員
5	昭和47年 11月20日	本人	かわ 河	の 野	ただし 正	男	福岡市中央区 舞鶴2丁目11 4番地	福岡県粕屋郡 篠栗町大字尾 仲139番地	大正3年 1月1日 (満58才)	日本社会党	医師
6	昭和47年 11月20日	本人	やま 山	さき 崎	たく 拓	男	福岡市西区西 新町2063番地	福岡市南区高 宮3丁目22番 3号	昭和11年 12月11日 (満36才)	無所属	昭和物産株 式会社代表 取締役
7	昭和47年 11月20日	本人	なか 中	むら 村	とら 寅	男	福岡県糸島郡 志摩町大字津 和崎 145 番地	福岡県糸島郡 志摩町大字津 和崎 145 番地	明治35年 8月3日 (満70才)	自由民主党	農業
8	昭和47年 11月20日	本人	た 田	なか 中	しょう 昭	じ二	福岡県八女市 大字本町 186 番地の1	福岡市博多区 博多駅前3丁 目15番18号	昭和2年 1月6日 (満45才)	公明党	党役員
9	昭和47年 11月20日	本人	つじ 辻	ひで 英	を 雄	男	福岡市西区藤 崎1丁目103番 地	福岡市南区長 住2丁目18番 23号	大正8年 7月8日 (満53才)	自由民主党	辻経済労働 研究会理事 長
10	昭和47年 11月20日	本人	なか 中	しま 島	しげ 茂	き喜	福岡県甘木市 大字桑原 350 番地	福岡県甘木市 大字桑原 350 番地	明治42年 2月11日 (満63才)	自由民主党	農業

第 2 区

届出 順位	届出 年月日	届出 の別	候			補			者	
			ふり 氏	がな 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和47年 11月20日	本人	み はら あさ お 三 原 朝 雄		男	福岡県遠賀郡 遠賀町大字鬼 津3605番地	福岡県遠賀郡 遠賀町大字広 渡1819番地	明治42年 8月20日 (満63才)	自由民主党	三原木材工 業株式会社 社長
2	昭和47年 11月20日	本人	たがや しん ねん (本名多賀谷真稔)		男	広島県呉市広 町 16705 番地	福岡県嘉穂郡 穂波町枝国66 6番地	大正9年 1月5日 (満52才)	日本社会党	団 体 役 員
3	昭和47年 11月20日	本人	まつ もと しち ろう 松 本 七 郎		男	北九州市戸畑 区一枝1丁目 1071番地	北九州市戸畑 区夜宮1丁目 1番15号	明治44年 11月15日 (満61才)	日本社会党	団 体 役 員
4	昭和47年 11月20日	本人	おお はし とし お 大 橋 敏 雄		男	福岡市西区西 新4丁目 299 番地	北九州市八幡 区東丸山町1 番地44	大正14年 11月3日 (満47才)	公 明 党	無 職
5	昭和47年 11月20日	本人	た しろ ぶん きゆう 田 代 文 久		男	福岡県直方市 大字上新入21 07番地	福岡県直方市 大字植木 251 番地	明治33年 12月5日 (満72才)	日本共産党	党中央委員
6	昭和47年 11月20日	本人	みや た さ なえ 宮 田 早 苗		男	北九州市八幡 区大字槻田12 35番地	北九州市八幡 区熊手京良城 吉野団地1844	大正8年 6月12日 (満53才)	民 社 党	会 社 員
7	昭和47年 11月20日	本人	もり たけ お 森 武 雄		男	福岡県鞍手郡 小竹町大字赤 池1914番地	福岡県鞍手郡 小竹町大字赤 池1914番地	明治38年 6月24日 (満67才)	自由民主党	会 社 役 員

第 3 区

1	昭和47年 11月20日	本人	やま ぎき へいはちろう 山 崎 平八郎		男	福岡県大川市 大字新田 819 番地	東京都文京区 小日向1丁目 3-6	明治44年 12月16日 (満60才)	自由民主党	団 体 役 員
2	昭和47年 11月20日	本人	あら き ますを 荒 木 萬壽夫		男	福岡県大牟田 市正山町19番 地	福岡県大牟田 市正山町19番 地	明治34年 7月17日 (満71才)	自由民主党	団 体 役 員
3	昭和47年 11月20日	本人	たか ほら きくま 高 原 佐久馬		男	福岡県八女郡 矢部村大字北 矢部10490番地	福岡県八女市 大字蒲原70番 地の1	大正15年 6月8日 (満46才)	無 所 属	株式会社山 崎組監査役
4	昭和47年 11月20日	本人	おにき かつ とし (本名 鬼木勝利)		男	福岡県八女市 大字本村 425 番地の358	福岡県八女市 大字本村 425 番地の358	明治37年 10月6日 (満68才)	公 明 党	党統制委員
5	昭和47年 11月20日	本人	はし わたる なら橋 渡 (本名 橋橋 渡)		男	東京都渋谷区 上原1丁目13 40番地	福岡県久留米 市天神町3番 地95	明治35年 3月22日 (満70才)	無 所 属	弁 護 士
6	昭和47年 11月20日	本人	まつ くら さぶ ろう 松 倉 三 郎		男	福岡県大牟田 市黄金町1丁 目308番地	福岡県久留米 市津福今町10 6番地の8	大正13年 8月30日 (満48才)	日本共産党	団 体 役 員
7	昭和47年 11月20日	本人	いな とみ たか と 稲 富 稜 人		男	福岡県八女郡 広川町大字川 上29番地	福岡県浮羽郡 吉井町大字清 瀬573番地	明治35年 10月19日 (満70才)	民 社 党	政 党 役 員
8	昭和47年 11月20日	本人	ほそや はる よし (本名 細谷治嘉)		男	福岡県大牟田 市大字吉野68 0番地の1	福岡県大牟田 市大字吉野68 0番地の1	大正元年 9月21日 (満60才)	日本社会党	団 体 役 員

第 4 区

届出 順位	届 出 年月日	届出 の別	候		補			者		
			ふり 氏	がな 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	所属党派	職 業
1	昭和47年 11月20日	本 人	お 尾 形 (本名)	ちえのり ちえのり 尾形智矩	男	福岡県京都郡 苅田町大字南 原993番地	福岡県京都郡 苅田町大字南 原993番地	昭和11年 8月10日 (満36才)	無 所 属	団 体 役 員 (くらしと 政治研究所 所長)
2	昭和47年 11月20日	本 人	く わ な (本名)	よし 義 はる 治 桑名義治	男	北九州市八幡 区西鳴水2丁 目54番地の2	北九州市小倉 区曙町1丁目	昭和5年 3月18日 (満42才)	公 明 党	公明党福岡 県本部副本 部長
3	昭和47年 11月20日	本 人	た な か 田 中	ろく 六 すけ 助	男	福岡県田川郡 赤池町大字赤 池268番地	北九州市小倉 区紺屋町1番 20号	大正12年 1月23日 (満49才)	自由民主党	政 党 役 員
4	昭和47年 11月20日	本 人	ひ ら 平	い き 義 いち	男	東京都千代田 区九段北4丁 目2番地3	東京都港区赤 坂8丁目7番 19号	大正2年 3月15日 (満59才)	無 所 属	ことぶき商 事代表取締 役
5	昭和47年 11月20日	本 人	く ら 内 (本名)	うちしゅう 修 じ 次 蔵内修次	男	福岡県築上郡 築城町大字土 深野396番地	北九州市小倉 区上富野2丁 目2の22	昭和7年 3月8日 (満54才)	自由民主党	団 体 役 員
6	昭和47年 11月20日	本 人	あ ら き (本名)	しょうぞう 晶 三 荒木昭三	男	北九州市小倉 区鍛冶町2丁 目135番地	北九州市小倉 区神幸町21番 地2号	昭和7年 6月28日 (満40才)	自由民主党	東昭観光開 発株式会社 社長
7	昭和47年 11月20日	本 人	よ し 吉	だ ほう 法 せい 晴	男	福岡県宗像郡 津屋崎町大字 津屋崎690番 地	北九州市小倉 区下到津2丁 目4番20の4 4	明治41年 3月13日 (満64才)	日本社会党	団 体 役 員
8	昭和47年 11月20日	本 人	み 三	う ら 浦 ひさ し 久	男	東京都目黒区 大岡山1丁目 122番地	北九州市小倉 区若園町325 番地13(南町 3組)	昭和6年 1月1日 (満41才)	日本共産党	弁 護 士
9	昭和47年 11月20日	本 人	い け 池	だ て い じ 禎 治	男	福岡県田川郡 香春町大字香 春333番地	北九州市小倉 区木町県営ア パート1424	明治43年 1月22日 (満62才)	民 社 党	政 党 役 員

3 当選人に関する調

第 1 区

当 選 年月日	当選告示 年月日	当選証書 与 附 年月日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	103,966	なら崎 弥之助	福岡市東区馬出西本 町1037松寿館アパ ート	団 体 役 員	大正9年 4月11日 (満52才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	93,944	田 中 昭 二	福岡市博多区博多駅 前3丁目15番18号	党 役 員	昭和2年 1月6日 (満45才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	82,499	中 村 寅 太	福岡県糸島県志摩町 大字津和崎145番地	農 業	明治35年 8月3日 (満70才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	80,929	山 崎 拓	福岡市南区高宮3丁 目22番3号	昭和物産株 式会社代表 取締役	昭和11年 12月11日 (満36才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	74,013	いさ山 博	福岡市中央区大名2 丁目10番20号	弁 護 士	大正10年 12月5日 (満51才)

第 2 区

当 選 年 月 日	当選告示 年 月 日	当選証書 附 年 月 日	得 票 数	氏 名	住 所	職 業	生年月日
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	105,578	たがや 真 稔	福岡県嘉穂郡穂波町 枝国666番地	団 体 役 員	大正9年 1月5日 (満52才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	84,736	三 原 朝 雄	福岡県遠賀郡遠賀町 大字広渡1819番地	三原木材工 業株式会社 社長	明治42年 8月20日 (満63才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	73,308	田 代 文 久	福岡県直方市大字植 木251番地	党中央委員	明治33年 12月5日 (満72才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	67,900	大 橋 敏 雄	北九州市八幡区東丸 山町1番44号	無 職	大正14年 11月3日 (満47才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	64,473	宮 田 早 苗	北九州市八幡区熊手 京良城吉野団地1844	会 社 員	大正8年 6月12日 (満53才)

第 3 区

昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	80,045	稲 富 稜 人	福岡県浮羽郡吉井町 大字清瀬573番地	政 党 役 員	明治35年 10月19日 (満70才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	78,662	ほそや 治 嘉	福岡県大牟田市大字 吉野680番地の1	団 体 役 員	大正元年 9月21日 (満60才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	73,413	なら橋 渡	福岡県久留米市天神 町3番地95	弁 護 士	明治35年 3月22日 (満70才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	62,794	山 崎 平八郎	東京都文京区小日向 1丁目3-6	団 体 役 員	明治44年 12月16日 (満60才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	61,505	荒 木 萬壽夫	福岡県大牟田市正山 町19番地	団 体 役 員	明治34年 7月17日 (満71才)

第 4 区

昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	74,174	田 中 六 助	北九州市小倉区紺屋 町1番20号	政 党 政 員	大正12年 1月23日 (満49才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	68,951	吉 田 法 晴	北九州市小倉区下道 津2丁目4番20の40 4	団 体 役 員	明治41年 3月13日 (満64才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	60,877	池 田 禎 治	北九州市小倉区木町 県営アパート1424	政 党 役 員	明治43年 1月22日 (満62才)
昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	昭和47年 12月13日	60,380	三 浦 久	北九州市小倉区若園 町325番地13(南町3 組)	弁 護 士	昭和6年 1月1日 (満41才)

選挙公報



自民党公認
なかしましげお
中島茂喜

(63才)

私の決意

私は二十有五年にわたる政治生活の経験と承継もとに、決断と実行の「田中新政」の旗に立て、外に相を、内に福祉を求める新しい闘いに邁進す決意であります。つねに変わらぬ目標の在りて理解と賛成は、私の心の糧であり、力の源であります。すべてを投げつけて、どこまでも押し進め、政治の道にすばしに生き抜く私の決意を皆さまの力でつめこめて下さいます。

『七つの決断』

七つの実行

- 一、住民との対話をもとに、明るくみなの手づくりの政治を築くことを「決断、実行」します。
- 一、人間優先の豊かな生活を保障し、思いやりのある福祉社会の実現を「決断、実行」します。
- 一、日本列島改造と、住みよき国土づくりをめざし、日・中・新時代の相互、国際都市の共同発展に全力を注ぎ、併せてアジアの繁栄と平和の為に寄与することを「決断、実行」します。
- 一、中小商工業及び農林漁業の近代化を強力に推進することを「決断、実行」します。
- 一、明日の日本をつくらせるための人間性豊かな教育を目標として「決断、実行」します。
- 一、サラリーマン減税、母子保護増進の強化、年金・風俗の大幅引上げ、競争激化の適度抑制と進歩的集積を「決断、実行」します。
- 一、総合的な計画に基づき国土の開発と財政破綻の防止による公平防止の徹底を「決断、実行」します。

私の略歴

- 明治四十二年 甘木市大志堂三〇番地に生れる。
金川小、朝倉中、東京農業大学農務部卒業
福岡県議会議員(二回)
福岡県議員連 会長(十四回)
昭和二年 自治会幹事
昭和三年 農務課長
昭和四年 農務課長
昭和五年 自民党福岡県支部長
昭和六年 自民党福岡県支部長

私達は中島さんをすいせんします

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 田中 角栄 (内閣総理大臣) | 田中 登英二 (自民党幹事長) | 二階 登 (内閣官房長官) | 木村 武雄 (農林大臣) | 尾立 邦郎 (農林大臣) | 船橋 元 (参議院議員) | 柳田 孝弘 (参議院議員) | 米田 正文 (参議院議員) | 鬼丸 正之 (参議院議員) | 安西 寛 (参議院議員) | 池田 勇 (福岡県知事) | 富田 一馬 (福岡市長) | 三輪 英一 (日本市長) | 時津 風勝 (元福岡市長) |
|----------------|-----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|



衆議院議員候補者
自由民主党公認・農民政治連盟推薦
なかむらとらた
中村寅太

(70才)

清潔と愛情で貫きとおす政治を

私は昭和二十二年初めての立候補に際し政治家は清潔、政治は愛情に徹することを誓いました。この度の立候補も同じ心かゝり、自らをきびしく戒め、新たな勇気をもちつて前進し断行の政治に徹する覚悟でございます。

今日までに実現した主な仕事

- 一、運輸大臣として
 - イ 日米航空協定を結んで日航機による、世界一周路線を確立した。
 - ロ 日ソ航空協定を締結し、シベリア上空の鉄のトビラを開かざ、東京・モスクワ間に日の丸を飛ばせ、世界の人々をアツと驚かせた。
 - ハ 都土の開発を促進するため、昭和五年をメドに新幹線敷道を博多迄の乗り入れを決定した。
- 二、国務大臣(国家公安委員長)として
 - イ 年功序列の制度による悪弊部長、警部補への昇進の道を開き、万年筆をなくし第一線に働く警察官の士気を高揚した。
 - ロ 全国駐在所の奥さんの苦勞に報いるため月額七千円の奥さん手当を実現した。
- 三、法務政務次官として
 - イ 全国の刑務所を都心から静かな環境に移転させた。
 - ロ 福岡市西新町の刑務所を移転させ、西地区発展の基礎をつくった。
 - ハ 農林水産委員長として、農林水産委員会に働く人と退職後の生活保障制度を確立した。
 - ニ 農林を心から愛し、その生活向上のためすべての農政と真剣に取り組み、全国農民よりカムフラゲット、農士の父として慕われている。
- 四、物価の安定を期し、生鮮食品の価格を引下げ
 - 1 福岡市西新町の刑務所を移転させ、西地区発展の基礎をつくった。
 - 2 すみやかに均下鉄を實現する。
 - 3 板付空港を国際空港としての完全な設備を整え、日中航空路線の空開する。
 - 4 博多港を大型船舶が自由に出入出来るよう整備し、西日本国際貿易の拠点とする。
 - 5 米軍基地を解放し市民の運動施設等をつくり楽しむとしたいの場とする。
- 五、農政の正常化
 - 1 日本民族繁栄の根拠となる教育諸制度の改革を断行する。
 - 2 福岡政令都市の東京店理店としての役割を果たす。
 - 3 大福岡市建設の方策
 - 4 中小企業、小売業者対策として
 - イ 中小小売業者の生活権を保護するため規制立法を断行する。
 - ロ スーパー等、大資本の暴力的攻勢から中小企業小売業者の生活権を保護するため規制立法を断行する。
 - 5 軍人恩給を、公務員恩給並に引上げ、物価の上昇にスライドする制度を確定する。
 - 6 遺家族の完全補償対策の早期実現を期す。
- 六、勤労者の生活向上のため
 - イ サラリーマンの源泉徴収率を引下げ、大市民の實現を期するとともに、持家制度を創設する。
 - ロ 勤労者の生活向上のため
 - ハ 地価並課税を廃止し農家の相続税は農業収入より納め得るよう、長期的納付制度を確立する。
 - ニ 軍人恩給を、公務員恩給並に引上げ、物価の上昇にスライドする制度を確定する。
 - ホ 遺家族の完全補償対策の早期実現を期す。
- 七、各団地に犯罪抑止用の大家会館を設備する。

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員
自民党公認・農政連推せん
森田 欽二
きんじ

(54才)

教育の再検討

激しく進展する時代の変化に対応し、心の豊かな人間形成を重視し、教育全般に亘り抜本的改革を計画的に推進する。
(1)教育者の資質を向上し、教育者としての使命感に徹した教師育成のため、新しい施設を設置する。
(2)私学の教育にしめる地位の重要性に鑑み、私学補助の一層の拡充をはかる。

住みよい豊かな福祉社会の実現

(1)日本人の心を豊かにし、人間福祉を増進し住みよい公害のない日本国土を建設するため思い切った社会資本を投入し、環境破壊等我が国経済社会のもつ問題点の解決にあらゆる施策を実施する。
(2)物価を安定させるために、広く経済機構を再検討し、総合的な政策を通して、強力な行政機構の整備拡充をはかる。

遺族傷疾軍人等の国の犠牲者に対する公務補助料、遺族年金を始め各種年金と恩給の大幅改善を行うと共に、老人の生甲斐を高めるため老人クラブ、働く場所等の施設を充実する。

(4)勤労者の福祉増進をはかるため、税負担の軽減、休日制度の改正等を積極的に進め、又快適な住生活を確認するため、持家制度を強力に促進する。
(5)身体不自由児のための療養施設の拡充をはかると共に、スモン病等の難病奇病等の調査研究を促進しあらゆる医療機関の充実をはかる。

中小商工業の振興のための政策確立

(1)各種中小商工業に対する金融機関

資金量の拡大融資条件の改善等をはかり、中小企業に対する各般の施策を強力に推進し中小企業の高度化の、促進組織化に努める。

(2)小規模企業の経営改善のために低利、無担保無保証の特別融資制度等の新設に努力する。
農山漁村の近代化と生活向上の促進

我が国産業の中に於ける農業の位置づけを明らかにし、農産物需給の長期的展望にもとずき農業生産目標を立て、農業経営の高効率化と適地適作を中心としてキメ細かな総合農政を推進し、

(2)林業の振興のため現在の補助制度の改善、積極的な金融の拡充等により林業生産基盤の整備を促進すると共に国有林野事業を抜本的に改善する。
(3)水産振興のため、漁港の整備事業を強力に推進し、浅海漁場の開発や海外漁場確保をはかる。又漁業金融を拡充すると共に漁業災害補償、漁船損害補償等の制度を改正して漁業経営の安定をはかる。

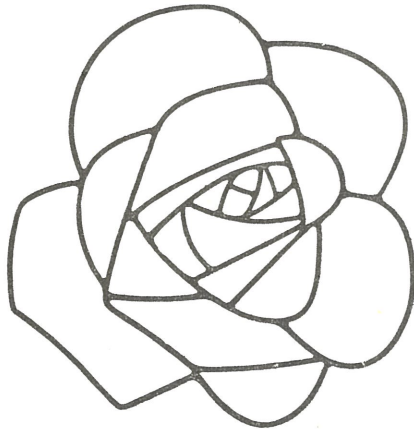
国民とともに明日に希望をつなぐ政治

大衆の声と正面から取組み実のある政治を遂行するため、国政に参加する以上は、明日に希望をつなぎ自分がやらねばならない事は最後迄勇気と決断をもって実行する。

経歴

福岡師範卒。福岡県議七期当選。県議会議長を経て現在自民党県連副会長。県酪産産産会長。甘木市農協協長。県農協中央会理事。

しあわせはこの一票の自覚から



投票日 12月10日

福岡県選挙管理委員会

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
日本社会党公認

かわの
河野
ただし
正

(58才)

一部の大金もちや大企業の人たちだけをだいたにする政治ではなく、国民みんなに光をあてる政治を実現しなければなりません。社会福祉の河野正はこの政治信念にたつて、全力をふるつてたたくてまいります。

わたくしのちかい

(1) 社会保障

社会保障水準を西欧なみの国民総生産一五%に(現年四・九%)老人福祉年金を六〇才以上月額二万円、厚生、国民年金を六万円にするともに積立方式を賦課方式にします。医療費の無料化を六〇才以上、三才以下とし、保育所の充実、公費負担を増加し、身体障害者の福祉の増大、雇用の拡大や施設の充実を図ります。

(2) 物価の安定

消費者米価や公共料金の値上げをおさえるため国の助成、財政投融資を行なうとともに大企業独占を規制するため公正取引委員会の権限と機構を拡充しその規制を強めます。また土地投機を抑制し、地方自治体の土地管理を強め安宅地造成と供給をふやします。

(3) 公害の追放

徹底した公害防止、環境保全政策を確立し実施します。被害者には手厚い救済措置を講じ企業責任を追及します。

(4) 労働政策の推進

労働条件の改善を図り、婦人労働者、こゝろに働く母親の産前産後休暇の延長、また育児休暇制度、定年制の延長を図りあらゆる労働者に労働三権確立の法改正を行います。

(5) 農業の改革

米、畜産、果樹の三本柱で農家の安定をはかる政策を樹立し、食品の加工、貯蔵は農民団体の手によつて行なうよう育成します。

(6) 中小企業の振興

国の政策の中で中小企業を位置づけるため中小企業省の設置をはかり、当面は中小企業専任の国務大臣をおき、中小企業政策に対する政治的責任を明確にします。

(7) 交通政策の確立

将来の輸送量の拡大に対し、長距離貨物は鉄道、船舶で、中距離はトラックというルールを確立し、大衆輸送を優先的に取扱い過疎地域の鉄道、バスに補助制度等国民のための交通政策の実現をはかります。

(8) 住宅の建設・生活環境の整備

公営住宅の増加を図り、家賃を収入の一〇%を限度とするため地価、資金、資材のコストが安くなるようつとめ快適な生活にするために努力します。

河野正の略歴

大正三年福岡市に生れ、大名小学校、福岡中学(現福岡高校)、九州医専(現久留米大学)卒業。一時学究を志し九州大学医学部にて研究、九大附属医学専門部助教、医学博士、のち河野病院院長。又社会運動にも挺身し、昭和二十六年福岡県会議員、昭和三十年より衆議院議員、引きつぎ五期当選その間衆議院文教委員会理事、社会労働委員会理事、内閣社会保障制度審議会委員をつとめ、社会福祉の充実に献身的に努力しました。現在日本社会党福岡県本部委員長です。

投票はあなたがする政治です

投票日

12月10日



(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとつてそのまま印刷したものであります)

(4)

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



日本社会党公認
なら崎弥之助

52才

私の略歴

- 一、学歴
昭和二年 福岡市糸島屋小学校入学
昭和八年 福岡市箕子小学校卒業
昭和十三年 福岡県立中学校修業
昭和十七年 旧制福岡高等学校(現九大教養学部)文芸甲類卒業
九州帝國大学法文学部法科卒業
昭和二十年 特別委員長、軍事プロシエクト・チーム
- 二、党歴
昭和二十年秋、日本社会党結党に参加、二期を経て現在、党中央委員、軍事基地反対特別委員長、軍事プロシエクト・チーム
- 三、議員歴
昭和三十一年より連続四回、衆議院議員当選

私のねがい

子供に太陽を
青年に夢を
婦人に安らぎを
老人に憩いを
そして

日本と世界に和らぎを

私の誓い

アジアから積極の真いを運ぶ。

日中間の国交回復が実現したのは喜ばしいことですが、右手で中国と握手しながら、左手で五五五にのぼる四枚舟を決定し、東面制台令という内閣法を改悪してまで特例をつくって、ベトナム人民を救う米軍の戦車をベトナムに輸送させる、これが即中内閣のいう「決断と実行」の正体なのです。このような矛盾した外交防衛政策では真のアジアの平和は到来しません。

私には何よりもまず政治に対する国民の信頼を取りかすために、政治をきれいなもの、わかやすいもの、身近なものにしたいと思えます。働く人たちが正義者がバカをみない世の中になりたいと思えます。

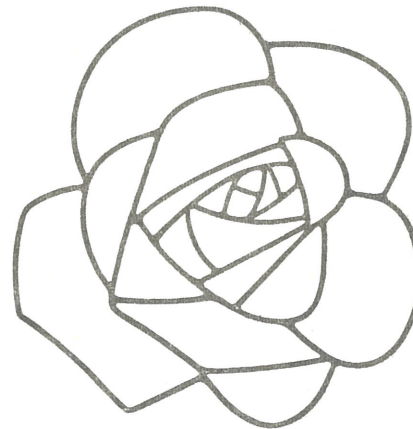
そして革新のかなめ社会党を「政権の党」にしたものの、そのかきかきをやっています。歩いてこそはじめてできる」と思いつめながらも、いつしかもう四期十二年の歲月が流れてゆきました。私にとってはその日々が冷然な機力と絶え間ないたたかいです。しかし私は決して負けません。この命を生きる限り、「進むとすし」にこれからは歩きつづける決意です。

赤ちやんとお年寄りが笑顔をみせる政治を

日本列島改造論がブームをよんでいって、これはまさに今日の最大の政治課題になっているが、今後とも、安保条約と自衛隊をなくし、平和中立外交の下に、アジアと日本に新しい平和体制を創進するためにがんばりたいと思います。

果てしない政治のよどみから新しい流れをひきだそう

しあわせはこの一票の自覚から



投票日 12月10日

福岡県選挙管理委員会

(5) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写取したことによってそのまま印刷したものであります)

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
日本共産党公認

いさ山博

(51才)

あなたの一票で政治の革新を

私は、学生生活の中途で軍隊にとられ、悲惨な戦争を体験しました。それだけに、アメリカの残虐きまりないベトナム侵略戦争とこれに加担している自民党歴代内閣に心の底からのいきどおりを感じます。

「私は死にたい。病院へのパスのなかで、おばけ女が二人いる」という小学二年生のごばに妹と二人で頭をあげることができませんでした。これは私が参加しているカネミ裁判の中学一年生の手記です。このほかにも、公害、高物価、交通戦、など、緊急に解決をせまらねられている問題が山積みしています。

日本国の誕生以来二十三年、貫して日中国交回復を主張してきた共産党は、その実現を歓迎しています。しかし、田中内閣はこれ以外の問題では物価値上げをはじめ、反動的な政策を強行しようとしています。

七〇年代最初の総選挙で自民党の立直りを絶対に許すわけにはいきません。私は自民党との対決をあらまいにする反共野党再編でなく、政治の真の革新をめざす統一戦線の結成のため奮闘します。あなたの御支持を心からおねがいします。

私の公約

- 一、日米安保条約の廃棄、戦車輸送や木口・沖繩からの米軍出撃の停止、核付をはじめ軍事基地の撤去をお願いします。
- 一、公害をまきちらす、大企業奉仕の「日本列島改造」でなく、公害法の抜本的改正、土地投機を規制し、住みよい国土総合計画をつくります。
- 一、公共料金の値上げをやめ、大企業のものつげを押えて物価を上げないしくみをつくります。また、免状金は年取一五〇万円に引上げます。

- 一、五兆二千億円の「四次防」をやめ、国民の福祉へまわし、老人に夫婦で六万円以上の年金を支給し、老人、乳幼児、難病、障害者の医療を無料にします。
- 一、大巾賃上げ、真の最低賃金制、週四〇時間労働制確立、同給権ストライキ権を保障します。
- 一、外国農産物の輸入を制限し、農産物の価格保障制度を確立します。また沿岸漁業の保護と増産に力をいれます。
- 一、中小企業、商店にたいする大巾減税、長期低利の融資をおこない百貨店、大スーパーの無制限の進出を規制します。

- 一、子どもを差別するつめこみ教育をやめ、学力・体力・情緒をあたかにのばす教育をおこないます。公立高校の増設と通学区の改善・私学助成の大幅増額をおこないます。また学園から、トワキスト暴力分子の掃蕩をはかります。
- 一、小選挙区制、司法の反動化、憲法改悪を阻止し、議会の民主的運営を確立します。

私の略歴

- 学歴 長崎高等商業学校(現長崎大学経済学部)卒業、九州大学法文学部哲学科卒業
- 職歴 弁護士、福岡第一法律事務所所長
- 後職 共産党憲法現行策部長、自由法曹団幹事、総評弁護団員、県憲法会議代表幹事、原水爆問題副会長、学者・宗教学者、元人の会代表幹事
- すいせん
- 白井 正 西南大学教授
 - 寺沢 正一 寺沢病院院長
 - 牛島 春子 作家
 - いずみたく 作曲家
 - 白土 三平 漫画家
 - 富士真実美 俳優

投票はあなたがする政治です

投票日
12月10日



(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真によってそのまま印刷したものであります)

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第一区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
自民党 公認

辻英雄

(53才)

辻英雄の略歴 大正八年七月八日生
福岡市当仁小学校、
中学修業館、旧制一高、東大法学部卒、
内務省、厚生省を経て労働省に移り、賃
金部長、労働大臣官房長、亀井県政第一期
の副知事、国際労働機関、経済開発機構
の会議出席、アメリカ政府招待で渡欧米
三回

立候補の動機

一、政治に新風を吹き込みたい。
あらゆる方面の対話により国民一人一人
の要望を的確にとらえ、人間尊重、福祉優
先の政治を確立したい。
一、福岡と中央とのパイプ役をはたしたい。
副知事四年の経験と中央行政二十数年の実
績を生かし、郷土福岡の健全なる発展と、
市民の幸せのため積極的に行動したい。

わたくしの政治姿勢

豊かな衣食住、ととのつた生活環境のもと
ではじめて健康で希望にみちた人間生活が得
られます。さらには老後の心配もなく、医療の
心配もないような高度の福祉国家の建設すな
わち人間らしい豊かさに溢れた日本に改
造してゆくことに邁進します。

わたくしの公約

一、新しい百年の展望に立つた日本改造に
努力する。
一、公害を起さない技術集約型産業の育成に
努め将来の日本産業の主体に変えて行く。
一、中小企業、農林漁業者に対し関の指導助
成による生産性向上策を促進し経営の安定
効率化につとめる。

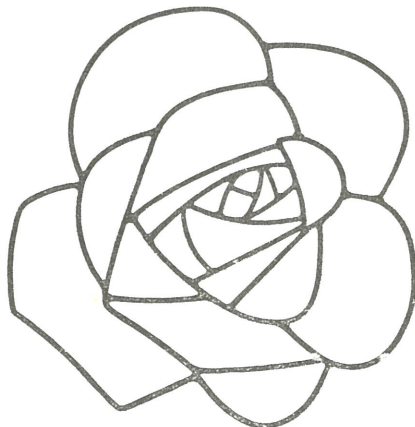
一、住宅や道路、公園、上下水道などの都市
施設を積極的に整備し住みよい都市造りに
邁進する。
一、各種公共施設を先行的に充実させながら
生産と人口の地域再配置を進める。
一、年金・医療をはじめとする社会保障制度
を根本的に再検討し福祉の画期的充実をは
かる。ことに老人、乳幼児、心身障害者、
難病患者、遺家族などに対してはきめのこ
まかい対策を強力に推進する。
一、土地の投機的取得の抑制、流通機構の合
理化、近代化、など総合的な物価対策を通
じ物価の安定につとめる。
一、勤労者の所得の向上、持家など財産形成
策の推進と労働者福祉対策の充実によりゆ
とりのある勤労者生活の実現をはかるとと
もに、自由で民主的な健全なる労働運動の
発展、正常なる労使関係の合理的安定につ
くす。

一、青少年が夢と希望に満ちてみずからの生
活を充実し国家、社会の発展に積極的に参
加するように育成する。
一、婦人の地位の向上と勤労婦人が安心して
就業できるような諸施策を時代に即して推
進する。
一、児童が明るい教育環境のもと健全ですく
びたい教師を迎え新時代を築く教育にのびの
びといそいそむくことができるようにする。

一、中国をはじめアジア諸国との友好、相互
理解につとめアジアの平和のためつくす
とともに福岡をアジア諸国への窓口として発
展させる。

実績のある新人辻英雄を
国政の場に送って下さい

しあわせはこの一票の自覚から



投票日 12月10日

福岡県選挙管理委員会

選挙公報



衆議院議員候補者
公明党 田中昭二 (45歳)

「わが家の願いを」

「わが家の願いを」を忘れた政治
それがいまの政治と思われず
公害、物価高、交通戦争等
わたしたちの生存は脅かされている。
そぶりだけで、見て知らぬ顔の政治
生命軽視の風潮を打破するため
いつ、どこから打撃が歩み始めるので
しょうか。

三つの誓いと七つの目標

いつまでも、どこまでも私は歩みつづけます。
わが家の願いが実現する政治に向かっています。

三つの誓い

- 一、人間本位の政治を実現します。
- 二、福祉充実の政治を実現します。
- 三、平和のフットレス日本を実現します。

七つの目標

- 一、ばくと妹のために
自ら咲き誇るより、次代の担い手を育て、香り高い人間讃歌の教育をめざします。
乳幼児に牛乳の無料支給と医療の無料化
児童手当、月三万円増の完全実施
保育所、幼稚園の増設促進
学校給食の改善と無料化
養育教育費の父兄負担解消、教育施設の充実
- 二、お兄さん、お姉さんのために
お兄さん、お姉さんが、健康で生きがいのもてる社会の建設をめざします。
所得税一五〇万円、住民税一三〇万まで無税
結婚資金三〇万円融資制度の新設と新築
夫死のための公営住宅の建設
週四〇時間、週休二日制の実施
成金並みの最低賃金制度の制定
屋内、屋外スポーツ施設の増設

一、お父さん、お母さんのために

虚構の繁栄に見失われた、国民のくらしを豊かにすることをめざします。
大企業、大資本の土地買占めを断固阻止
公共住宅三LDK等級戸六万戸建設
持ち家建設資金金融拡大と金利引下げ
四〇歳以上成人特定定期無料診療制の制定
電気、ガス、水道、バス、国鉄等公共料金の値上げ阻止
有害なタバコ、真鍮の追放と管理価格の維持
流通機構の改善、生鮮食品の適正価格供給
退職年金六〇歳以上に引上げ実施

一、おじいちゃん、おばあちゃんのために

人生の疲れをいやし、老後の生活に生きる喜びを味わっていただける政治をめざします。
六〇歳以上老令年金月額六万円支給実現
ケア住宅、ケア住宅の大量建設
六〇歳以上の医療無料化の完全実施
特殊養老老人ホーム建設、ホームヘルパーの増員

一、私たち地域社会のために

みんなの対話で新しい政治の潮をつくり、住民参加の政治をめざします。
都市高速鉄道の早期実現と交通基幹の解消
都市上下水道の建設促進と安全通学道路の整備
大気、土壌、河川、海洋等の汚染防止のため
環境保全基本法の制定
自然林、緑地地域の破壊を防止し各種公園の増設と緑地化

一、私たちのために

つかれた自然をいやし、人間と自然の調いある環境をめざします。
火災、土壌、河川、海洋等の汚染防止のため
環境保全基本法の制定
自然林、緑地地域の破壊を防止し各種公園の増設と緑地化

一、私たちのために

公害行政の一元化と地方自治体の権限強化
公害被害者のために
今こそ、自らの危機を知り、軍手をはたき、この連帯を結ぶ。アジアの、友と手を結ぶ日本を創り出す。

一、私たちのために

四次防を阻止、軍国主義化の打破
米軍基地を撤去し日米安保条約の早期終了
自主、平等、中立外交を推進しアジア、太平洋平和会議の開催

経歴

福岡市居住
衆議院
公明党
大蔵事務官、税理士
中央委員、運輸総局理事
大審府道徳保護特別委員長



衆議院議員候補者
無所属 内藤だけのぶ (34才)

田中派の若い星

福岡出身、大名小、舞鶴中、修成館高、早稲田大学卒。
毎日新聞政治記者として十一年間国会、首相官邸、外務省、文部省、建設省、各政党を担当したほか海外特派員として活躍。アジアを考える会会長。
故内藤用一郎(元全国PTA連合会副会長)の三男。
竹下登前内閣官房長官の女婿。「近くて遠い国」と著書多数。

「政治」若い力を国会に

若者は政治に失望しています。この若い力を「政治」に取り戻さなければ、日本の将来は大変なことになるでしょう。
私は十一年間の新聞記者生活から政治記者として国会のあり方をみて、中央政界の老化をつくづく感じました。

「教育」受験地獄の解消

政治のすべての基礎は「人」にあります。
戦後の教育が、わが国の民主化に果たした役割は無視できません。半面、無責任な風潮が出てきたこともたしかです。
私は「自由」「責任」は一体であることを、はっきり教える教育、特に弱者や老いた方々への眼をおくべきだと信じます。

「福祉」生きがいのある老後

忘れてならないのが老人福祉の問題です。わが国の平均寿命はすいぶん高くなりました。しかし、さびしい老後や、むなしい生活を送ったのは、半つかりの一生が少なくありません。
私は、老令者が生きがいのある生活を送る環境をつくるための職責を努力を尽します。

「福岡」アジアに開く玄関

福岡は、私たちにとても非常に住みやすい街です。しかし、このままでは、いまに東京と同じ公害都市になりかねません。
公害を防ぎ、きれいな水と空気を太陽を守るため、都市と農村のパラダイスのような開発を進めたい人間都市をつくらなければなりません。
と同時に福岡はアジアに開く日本の玄関として本格的な国際空港、港湾施設などの建設および地下鉄、高速道など大量輸送の本拠を整えておくべきです。

「物価」地価の値上り抑制

物価の問題で、もっとも深刻な問題が地価の値上りです。税制を改め土地が不当な騰貴の対象とならないようにする一方、国や県が土地を買い上げそこにもつと安い住宅を建てて必要があります。
ぜひとも「二人一室」の実現をめざします。
強力な地価抑制対策と同時に、流通機構の合理化や公正取引の確保を推進して、主婦の悩みを解消するようにいたします。

「文明」二十一世紀のために

公害の問題一つをとっても、人間の文明が果してこれだけのか、という問いかけが必要になってきます。
戦後の日本は、戦前の痛手から立ち戻るためやみに働いてきました。そして、日本の社会に人間関係の冷たさや、道徳感の欠如がみられるようになってきました。
このあたりで、もう一度社会のあり方、政治のあり方を真剣に考へてみるべきではないでしょうか。
二十一世紀は、もうそこに来ています。

(この選挙公報は、印刷用から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

選挙公報



衆議院議員候補者
日本社会党公認

たがや真稔

(52才)

わたくしの決意

さきまの県知事選挙においては県民のみな様の強いご支援をいただき、有難うございました。闘いには敗れましたが、老人医療費無料化が実現したことは提言者として誇りに思います。

この知事選及びその後の経験を生かして市政に反映したいと思います。

わたくしの公約

- 一人を大切にす体制への切りかえ
- 日本列島改造案も公営拡張と大法人の土地買収めを拒否いたします。真の福祉重点の体制に要ふなればなりません。
- 社会保険を西欧的な水準に
- 福祉五年計画を西歐の水準に引上げる。
- 年金制度を預立方式から賦課方式へ老人を同世代の働く者が連帯して養へに切りかえ、直ちに福祉年金を六十五才より七〇才に引き上げ、三〇〇〇円、厚生、国民、年金は常に受給額の平均賃金の七割を確保する。
- 六十五才以上、三才未満、身障者の医療無料。
- 被爆者の完全医療。
- 一定規模以上の土地取得の許可制、税制などにより法人買取りによる土地投機をストップさせる。
- 公営住宅を大増設。家賃は収入の一割基準とする。
- 働く母親と子どものために産後休暇の延長、育児休暇制をつくる。

- ・当面六〇才まで定年延長、週休二日制の実施
- ・失効、緊縮、開放の存続
- 4 公害の企業責任と完全無過失賠償を定め、公害防止に人類の英知と技術を結集する。
- 5 中小企業への長期低利の融資を強化し、退職金共済、社会保険の助成充実を図る。
- 6 農産物輸入の抑制、畜産、果樹の管理制度を設ける。
- 7 輸送分野を確立し、事故被害賠償に公的社会保障を適用する。
- 8 産業と人口の適正配置を人間優先の立場から計画的に行う。
- 9 教育の統制、選別を排し、高校義務制、生涯教育の整備、私学の助成につとめる。
- 10 自主財源と権限を自治体と与え、住民参加の自治をすすめる。
- 11 同和教育の強化と事業費予算の拡大により「いじめ差別」をなくす。

二、新しいアジアの平和体制

中国との国交が回復した今日、速かに安保をやめ四防を中止し、近隣諸国と相互不可侵の友好条約を結び、アジアの平和体制をつくり、国際的に信頼される中立外交をすすめる。

三、住みよ、郷土の建設

日中貿易拡大により今後中国市場に連なる産業機械工場を誘致する。

わたくしの略歴

早大法学部卒、日鉄二種鉱業所勤務、農防法政部長、異議二期、衆議院選、衆院石炭特別委員長、前社会党政策審議会会長、今日まで約十にのぼる社会保険労働、中小企業などの法律を提出、福岡県知事選に出馬。



衆議院議員候補者
自由民主党公認

もり 武雄

(67才)

一、私は何故立候補したのか

私は昭和二十五年から福岡県議会議員として五期二十二年間勤めました。その間、思いがけず私達の住む福岡地方には産業閉鎖問題が起り、これの対策のために県後の六次には産業地帯振興特別委員長となり、筑豊産地地域振興問題、水資源問題が次第に完成しつつありますが、本格的な企業家の進出と再開発の素地はまだできていません。産地地域に生れ育ち、そして死ななければならない私には、此の地は故郷というより、安をみる気持が致します。どうか折しなればならぬという気持ちで強く致します。折しも田中総理の日本列島改造論中に過疎地帯としての筑豊を指摘され、中核都市帯には全く格好の処だを考へました。私は此の際一身を賭して筑豊産地地域の振興問題と田中総理の西政指針である日本列島改造論を現に真摯に取り組みたいと思ひます。田中総理に直結した政治家になり努力することは筑豊地方に於てこれほど有効な時期が又とないと思ひます。これが最大の立候補の動機であります。

二、当選後の私の約束

前述の動機であつた産地地域閉鎖問題に取り組みことは勿論、他にもやりたいことが余りにも多いですが特記事項については必ず実現に努力することを誓ひ致します。

- 自分は日本に生れてよかつたと思ふ満足感と誇りを感ずるべきな福岡を建設したい。
- 全日本消費人口の食糧完全自給が出来るように「産地投資」をこゝに近代化農業の確立を計る。
- 総の物産の安定は国民生活安定のため必要で、政府だけでなく、国民も参加した総合企画を行なうべきと思ひます。

三、私の歩いて来た道と政治について

私は農業学校卒業しただけの無学なもので、農業労働はいやという程身をもつて体験し、其の間何物にも皆乏しい貴重な知識、技術と不屈の精神とを養つて参りました。学歴のない政治家は、誠意と努力でこそを補はねばなりません。

私は大物政治家になる事よりも、地域住民に奉仕できることを味方として参りたいと思ひます。

四、最後に結びの言葉として

昔から、言はれ易く、行はれ難しと言われたい。私は出来ない事ばかりではない様で、建設的な事をやるべ、必ず実行するつもりであります。実行が短期で成し得る物はかりではありません。あくまで誠意を以て努力を重ね、言ひなれば、有難う行へる人となり、この言葉を進ませたいと思ひます。

(1) この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります

選挙公報



衆議院議員候補者
公明党公認

大橋 敏雄

(47才)

「初心忘るべからず」

昭和十二年、梓様の暖かい御支援のもと、衆議院に初当選して以来、私の政治信条であります。微力ながらこうして皆様の協力によって、国会に就いていたことは、私にとりまして、私を通して、「皆さんの声、皆さんの苦勞、皆さんの心構」を政治に反映させるためであったものと信じております。

私は、この重大なる使命と責任を果たすため、六年間、この、社会労働委員理事、党社会労働部部長として、福祉行政の改革と質向上のため、真剣に取り組んでまいりました。

私は、今後とも、公明党の結党精神であります「大衆と共に生き、大衆と共に戦い、そして大衆の中に死んでいく」の決意をもってわが國の社会福祉充実のために、戦ってまいります。

私の主張

一、社会保険の充実
社会保険充実五ヶ年計画の策定、社会保険給付費は対GNP比率で、西欧並みの一五% 現在五、三% にします。

一、年金制度の改正
厚生年金六万円、厚生年金五万円(夫制)、老令福祉年金三万円の實現。

一、医療制度の抜本改正
医療保障制度の改革、公的医療の拡大、社会福祉施設等の整備等の推進。

一、物価の安定
公共料金の値上げ、物価値上げ政策に反対し、物価の安定を図ります。

一、憲法改正、四防に反対
戦争なき絶対平和の實現のため自主外交、平和憲法を守り、四防に断固反対します。

北九州 筑豊の未来のために

私は、三たび北九州候補するにあたり、申様と北九州筑豊の未来について共に考えてみたいと思っております。就職後を通じて、北九州、筑豊は、日本の重要地帯として栄えてまいりました。しかし今日の北九州は、公害により、市民の生命さえ脅かされていまして、また筑豊方面は、石炭産業の結構化により、かつての姿は今は見られず。

これは、政府の「高度経済成長」政策の歪みであることは、いままでもありません。

したがって、私は人間無視の政治から福祉第一主義の政治に転換し、北九州、筑豊の地に「青空と緑と、きれいな水」を取り戻し、豊かな、生活が享受できるよう、次の施策を推進いたします。

一、勤労者の権利世帯(夫婦と子供三人)の年取、一五〇万円までの、所得税を無税にします。

一、中小零細企業の近代化のため税負担の軽減、無担保金融の拡充等を促進し、産業基盤を整備します。

一、洞海湾の汚染を浄化するため、沿岸工場に対する自治体の権限を強化し、下水道の整備を推進します。

一、大気汚染防止のため、監視測定の整備、無公害自動車を開発、防除施設の拡充を推進します。

一、産炭地の復興をはかるため、拡充補助、赤土山の処理、無害企業への誘導等、国庫補助の大規模額を行ないます。

私の経歴

- 一、福岡県庁長官
- 一、衆議院当選(二期)
- 一、福岡県庁長官(二期)
- 一、衆議院議員(二期)
- 一、党社会労働部部長
- 一、党福岡本部部長



衆議院議員候補者
日本共産党公認

田代 文久

(72才)

私は衆議院議員候補者、石炭対策特別委員として、国鉄運賃値上げ法の廃棄、筑豊線などの列車削減反対、十五本のダイヤ復活、花の木せき改修団体補助の實現、筑豊復興、ぼくごうの原因となる三変化成産ベンジンの生産中止、若松区若田野水田の自衛隊の演習中止などに微力ながら力を尽くしてきました。

いまこそ政治の革新を

田中内閣は世論におされて日中外交回復をおこないましたが、その本質は、歴代自民党内閣と同じく、アメリカのペトナム侵略に協力し、また大企業の特権に奉仕する政府であることが明らかになってきました。ベトナム向けの米輸送を確保するためには、道路交通制限をも改悪し、アメリカ自身が「軍の補充部隊」としている自衛隊を増強するために、四防で五兆二千億円をつぎこむことをめざします。

「日本列島改造」論は、財界に奉仕する「超高度成長」計画であり、公害、交通災害、物価高騰など、国民の苦しみは、これまでもいつともええるばかりです。こんどの臨時国会では田中首相自身が「悪い癖」につつまれており、また言論弾圧を意図していることが明らかになりました。

いまは政治の革新が求められているときではなく、その実現は、日米軍事同盟と手をきき、大資本と手を切り、国民のいのちとくらしを守る、民主主義を確立すること、この三つの共同目標をかかげた革新統一戦線の結成を主張し、一貫して奮闘している日本共産党の躍進にかかっています。こんどの総選挙では北九州に公害、高物価、筑豊に荒廃をもたらした自民党、新日鉄資本に権された民社党、革新統一に消極的な諸政党ではなくて、日本共産党の田代文久にぜひご投票ください。

私の公約

- (1) 日本共産党を公認します。
- (2) 日本共産党を公認し、四月以降による自衛隊増強を止めさせます。芦屋、岡崎、射場場の両方に反対します。
- (3) 「日本列島改造」による国土破壊に反対し、民生的地域開発をすすめ、民主連合政府の手によって豊富な石炭資源の採掘を再開します。筑豊復興を促進し、田中の責任で無害工場を改入します。地元中小企業に資金と技術を援助して荒廃をはかりません。
- (4) 国民のいのちとくらしをまもります。
- (5) 国会の権限をつよめ、独占物産をひききげ、インフレを一掃します。
- (6) 四人家族年取百五十万円まで免税とします。
- (7) 六十才以上の老人、身体障害者、三才児以下乳幼児の医療費を無料とします。
- (8) 公営住宅を全面的に改正し、発生源をおさえ、北九州全域を公害病救済地域に指定します。
- (9) 憲法改正、小選挙区制、言論弾圧、軍国主義教育などに反対し、国民の権利と民主主義をまもります。
- (10) 希望者全員の高収入のため公立学校増設、総合選択制、私立高校への授業料補助の増額を実施します。

私の経歴

- (1) 院内における革新野党共闘、全国的革新統一戦線の確立のために、また県内革新統一、民主連、市町政の實現のために奮闘します。
- (2) 地方市に生まれ、東筑中をへて京大経済学部卒、昭和四年共産党入党、党中央委員、衆議院当選二期。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真によってそのまま印刷したものであります)

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第二区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
民主党公認

宮田早苗

(53才)

初陣の宮田早苗です

昭和三年第一回普通選挙で、社会民主党(いまの民社党)が亀井、渡辺代議士をおくりだして以来、福岡県第二区で民主社会主義をまもりつづけてきたのは、みなさんの先覚と伊藤卯四郎先生のお力でありました。

このたび伊藤先生四十数年の政治運動のあとをうけて、わたし、宮田早苗が立候補いたしました。

宮田早苗は誓います

選挙の「公約」は、葉の広告のように使つてみなければなりません。

わたしは初陣にあたり、福岡県第二区のみならず、絶対に変わらないまごころを誓います。

福岡県第二区四十数年の民主社会主義の火を生命をかけてまもります。

このたび公害、同僚、低福祉、エコノミック・マル精神を懸きはらい、ものも、こころも新しい日本にかえるよう努力いたします。

民社党の新人として

新人の宮田早苗は、党の方針とみなさんの助言にしたがって忠実に活動します。

(1) 経済成長第一主義の保守政治から、福祉優先、人間尊重の政治にかえる。

(2) 民間福祉を昭和五十二年までに、いまの四倍にする。

(3) 国民福祉優先原則とする土地利用基本法を制定し、公害をなくし、きれいな空と緑の美しい日本にする。

(4) 生涯所得保障体制を確立し、働きがいのある、濃い老後を期待できる日本にする。

(5) 自主と共産の平和外交を推進し、アジアの新しい平和と秩序づくりに貢献する。

労働者生活の実感から

宮田早苗は三十五年間の労働者生活で、実感として身にしみたことを、次の民社党の政策の中に生かしていきます。

年金制度の根本的改革が、そのひとつです。いまの制度では、金額が少ないうえに、退職しても五年乃至十年間はもらえません。そのため、家を立てたり子供の教育、結婚があれば、退職金は老後の生活の保障にはなりません。

わたくしは、年金の大幅引上げとともに、退職をしたら、その翌日から年金をもらうように、制度自体を改正いたします。

ゆるやかなが、たしかな革新

資本主義が共産主義か、安住保持か即時廃止か、自衛力増強か無防備中軍か、など形式的な論議が盛んな時期がありました。

民社党は結党以来、福祉国家をとなえ、一歩一歩諸問題の現実的な解決をつみかされてきました。

そのため、ついふん惑目もいわれませんが、それがいまでは保守も革新も、テレビ番組にあるように「ヘンリーン」して、そんな極端なことはないわみなさん、どうぞ福岡県第二区四十数年の、ゆるやかなが、たしかな革新の火を消さないで、更に大きく燃やしてください。そして国民のための政治、豊かで幸せな暮らしをまもりたいと、空と、海と、緑の美しい平和な日本を築くために努力する、初陣の宮田早苗、苦戦の宮田早苗に皆さんの一票をお願いします。



衆議院議員候補者(福岡二区)
自由民主党公認

三原朝雄

63才

対話のできる政治家 三原朝雄

日本の国際的な地位は大変に伸びてまいりました。これからは真の自主外交路線を推進します。

そのためには我が国の国益を守ると共に世界の国々とも仲良くし開発途上国の発展に協力、世界の平和と繁栄に寄与することを誓います。

外交

誠実、清潔で

決断と実行の

政治を

心を豊かにする
日本列島の
改造は先ず
郷土から
郷土の発展は
自らの責任

心を豊かにする

日本列島の

改造は先ず

郷土から

郷土の発展は

自らの責任

三原朝雄と共に

国政に参加しよう

- 一、より豊かな生活を確保するための所得の保障
国民年金(老人・児童・心身障害者・母子
福祉年金)五万円の早期実現
- 二、国民医療の確保 特に六十五才以上の老人と三才以下の幼児
遠征対策などを含む)の確立
医療の無料化 慢性疾患への助成対策
- 三、物価の安定と消費者行政の充実
- 四、公害防止と既存公害排除の推進
- 五、生活環境(住宅・交通・河川・懸崖・上下水道等)の運営や
な整備
- 六、新時代に即応した教育の育成強化
- 七、産地地の改善復旧と総合的再開発の推進
- 八、高効率、高所得の産業展開と中小企業の振興
- 九、勤労者、小規模事業者に対する大規模対策
- 十、国民の理解協力による自治体制の確立
を公約します

経歴

福岡県選出議員出身明治四十二年八月二十日生
福岡県立中学校卒業明治四十四年九州大学法学部
昭和八年事務局長臨時責任(福岡県選出議員)事務局長
昭和二十五年より福岡県議会議員連任五期首選
副議長、各委員長(五市合議等)歴任
昭和三十年自由民主党入党、県連副会長
昭和三十八年衆議院議員当選、外務予算、商工各
常任委員、石炭特別委員
昭和四十二年衆議院議員当選、防衛政務次官、
衆議院運営委員会理事、内閣委員会理事、内閣部
会副会長、十四年衆議院議員当選、昭和四十五年六
月自由民主党福岡県連会長
昭和四十七年国会対策副委員長

(3)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

昭和47年12月10日執行
 衆議院議員総選挙
 (福岡県第二区)

選挙公報

投票日 12月10日
 福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
 日本社会党公認

まつもと しろう
松本七郎

(61才)

はじめに

今度の総選挙は、インフレーションを苦しめる高成長成長率の暴落が、それとも国民生活と国政を守る国民政治への突破口を切り開くか、大きな分岐点になる選挙であります。

一、政治の基本姿勢

私は次のことを守ってゆきたいと考えています。
 第一、地球よりも重い、人間の命を大切にすることであり、一切の戦争をやめさせ、二度とあの悲惨な戦争をくり返さないために、どんなことがあっても平和を守り抜く決意であります。平和のトビテとして国民に定着している日本国憲法を、あくまで守ってゆきます。そのためには民主教育を守り確立することが極めて大切であります。
 第二に、明治の先覚者 福沢諭吉が喝破しましたように、「天は人の上の人をつくらず、人の下の人をつくらず」という原則であります。

これこそ民主主義の基本であります。人間の差別を撤廃するために私は、これまでも及ぼすながら努めてきましたが、憲法第95条の増設の積極性とたまたま米解放部活の完全解放のための提案に士努力したと思えます。民主主義の危機に際しては、特にこのことが大切であります。

また教育基本法で定められている教育の機会均等を守ります。民は、子供の時の能力差をもとにした差別教育につながる中央教育審議会の答申には反対の立場をとるものであります。
 第三に、民主的な革新目標を確立し、その財源と権限を確保することであり、

公害、物価、住宅、税金、交通、或いは年金の充実や医療の無料化など、重要問題の解決に果す自治体の役割は今後ますます大々となります。
 特に漁業地域の復興、残存被害の復旧、企業誘致や農村事業、緊急就労、開港、特別就労の事業の充実など、これまでは、とくに地元の間が無視されてきました。

二、当面の課題

以上の基本的立場から今後、しおり取り組むべき課題のいくつかを挙げれば次のようになります。

- (1) 各種年金の増額、賦課方式の採用など、社会保障の確立。国庫防子第五千億円の大幅減による年金増額、所得制限撤廃、老令者、乳幼児医療の無料化、心身障害者対策の即時充実。
- (2) 土地特権の徹底規制による物価安定と住宅政策の確立。
- (3) 同和对策事業特別措置法の財源確保と早期実現。
- (4) 労働基本権の確立、労働災害防止と補償の完全実施、低賃金構造と合理化の打破。
- (5) 主要農産物の価格支持制度、土地改良の全国展開。
- (6) 個人事業税の廃止、事業主報酬制度の確立、融資枠の拡大と利子補給、従業員の福祉確保。
- (7) 義務教育の完全無償化と幼児教育の充実、教育委員の公選。
- (8) ベトナムの和平第一と朝鮮の話し合い統一への協力。
- (9) 日本の中立と安全を保障する条約により、安保に代る体制確立。
- (10) 各種選挙を排除するため、選挙公案と比例代表制を内容とする徹底した選挙制度の改正。

むすび

以上緊急を要する課題としてその政策の一端を述べたにすぎませんが私は、過去三十五年に近い衆議院議員としての経験を生かし、少しでも希望のもてる明るい方向に前進させたいと意欲をもちしています。どうぞ深いご理解と方強いご支援をお願いします。

投票はあなたがする政治です

投票日

12月10日



(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものであります)

選挙公報



衆議院議員候補
日本社会党公認

ほそや治嘉 (60才)

人間性の回復を
世界に平和を
国民に生活と権利を

政治は
だれのためなのか
その負担は
だれがするのか
原点にたつて考えてみよう

格差と不公平拡大の保守政治

経済大国というが、社会保険は三流国である。国民所得に対する社会保険給付費の比率は、わずかに六分程度。イギリスの一五、西ドイツの二二、アメリカの八分と比し、問題にならない。六五才以上人口一人当り年金給付額は、日本の一〇〇に対し、米四五二〇、英国三一六、西ドイツ五五六である。

「昭和四五年の時間当たり賃金は、日本の一〇〇に対し、米四三〇八、西ドイツ一七〇で、労働分配率は三二%と最低である。」

公害のたれ流しで、美しい自然は破壊されつつあり人の生命まで危険にひんしている。プールの裏では、消費者運動の嵐が吹き、最近の異常な部活物の騰貴で、悪性インフレが迫っている。農村では、田舎者問題、都市では交通事故の激発で、生活の安定感はない。ない。

自民党政府の手で進められた高度経済成長は、国民大衆にとっては、格差と不公平の拡大以外の何物でもなく、それは「ひびみ」どころのものでなく、深刻かつ本質的なものである。田中内閣の列島改造論は、この意味で断固粉砕され、政治の流れを変えなければならぬ。

私の公約

- 一、人間優先、いのちとらしを守る政治経済に切り変える。
- 1 GNP第一、生産、貿易第一主義、重化学工業中心の経済政策の転換に努める。
- 2 物価を安定させるため、公共料金の三年間値上げストップ、管理価格、流通経費を規制し、原価等を公表する。
- 3 勤労所得税は、五人世帯で一五〇万円まで無税、個人事業税を廃止し、法人税の西欧化を引上げ、租税特別措置の改革を断行する。
- 4 厚生年金、国民年金、老令補償年金など、社会保障をなだちに大幅増額する。
- 5 公害を追放し、環境の回復と保全、みどりと自然を守る。このため土地利用計画を確立し、工場等の立地規制を進め、開発より環境整備、公害発生源者負担原則を貫く。
- 6 人間差別を許さず、労働者、農民、漁民、中小企業者の生活向上のため努力する。
- 二、憲法と教育基本法に基づき人間の創造性をのばす教育、国民本位の文化を築く。
- 三、地方自治体の行政、財政権を拡大し、住民参加による真の地方自治をつくりあげる。
- 四、政治の不正腐敗を徹底的に追及し、政治資金規制法で金権政治を追放する。
- 五、日本安泰後継者をなくし、日中、日ソ、日朝との不可侵条約を結び、アジアの平和体制をきづきあせる。
- 四、次防の停止、自衛隊の削減をすめ、非武装化、中立外交を積極的にする。

候補高等工業学校応用化学科卒業
福岡県議会議員二期党県連書記
大牟田市長二期
衆議院議員当選三期党中央政策事務局長

決意



衆議院議員候補者
自由民主党公認

やましろ八郎 (60才)

私は三年前、衆議院議員総選挙にはじめて立候補し、曲り角にきた農政に取り組みことを有権者の方にお約束し、又私の郷土筑後地区の中小企業その他の産業の振興と、社会福祉の向上に努力することを誓って、皆様方の強いご支持を得て当選し、政治家としての第一歩を踏み出しました。以来今日まで国政に参画し、自由民主党に所属し、終始一貫この公約を果すため努力してまいりました。この私の信念は今日においても変わっておりません。こと農政に関する限り絶対に自信をもっております。又郷土の発展、産業の振興についての抱負と努力も決して人後に落ちるものではありません。

今日の日本は、政治外交、産業経済の形勢も、三年前とは比較にならない程重要を占めております。この衆議院議員選挙に再び立候補致しました。

私の主な経歴

- 九州大学農学部農学科卒業
- 農林省九州農政局長
- 衆議院議員
- 農学博士
- 衆議院農林水産委員長
- 同 石炭対策特別委員
- 自由民主党政調農林部会委員
- 同 商工部会委員
- 同 地方行政部会委員
- 同 経理部次長
- 九州地方開発審議会専門委員
- 全国農用地開発推進協議会長
- 全国土地改良事業団体連合会顧問
- 山崎農政経済研究所長
- 衆議院議員当選一回

一、国政については
特に物価、公害、明るい環境作り、老人福祉、青少年対策等、経済成長優先から人間優先の社会福祉の充実に努力し、生きがいのある生活、働きがいのある職場の確保に力を注ぎます。

二、郷土の振興については
(一)筑後川流域一帯の農林水産商工業を含む産

(3) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真に起こってそのまま印刷したものであります)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
自由民主党公認

くら内修治

(54才)



衆議院議員候補者
自由民主党公認

田中六助

(49才)

一、挨拶

福岡県第四区のおきん、皆様のお蔭で昭和三十三年以来、連続五回当選、本年七月には選ばれて衆議院商工常任委員長就任されて頂きました。これ程に自顧から皆様御支援の賜ものでありまして、厚く御礼申し上げます。この度私の六回目の選挙を遂げました。初心にかえって全心を奮って打込んで参りました。何とぞよろしくお願い致します。

私の基本姿勢

日本は現在驚異の経済成長を遂げ繁栄を謳歌していますがその反面公害物価など国民生活にも深刻な不安が覆いかぶさって参りました。この辺で政治の方向を「成長か福祉の政治」に「国の富より民のしあわせの政治」に軌道修正しなければなりません。さらに政治的無関心の風潮を光し民衆の欲求不満の源泉になって参りました。このエネルギーは国民ではなくて政治家のエネルギーを正しく取り返すこと、その出来ない政治と政敵であることを痛感して反省し、より一層大衆のための献身と自己犠牲を徹することを誓うものであります。

私の主張と公約

一、重厚な外交
日中復交によってわが国は米中ソ三超大国に對しより自主外交を展開できるように参りました。然し忘れてならないことは日本はこれまで自由民主努力の一員であること、その自主に立つて責任を果す努力がなければやがては国家存立の甚難すら危うくなるというところでありました。ソ連との北方領土交渉にも日米の緊密な関係にスキマ風を入れてはなりません。日中復交によってすべて国交は解消してしまつたという錯覚、それから安んずる安んずる、四次防衛論の幻想に迷ひさせられてはなりません。国家民族の独立は個人と同じく尊厳不可侵のものであります。現下の激動期こそ重厚、冷静な外交が必要であります。

二、日米列島改造を以て爲す

たとえこれに生れようともそこで教育を受け、就職し、結婚し、骨を埋めることの出来る郷土、日本中をそのいかにしようとするのであります。他所に育ちながら食えない、これを通過と通称するのです。過密地帯ではコンクリートジャングルが公衆にあふき過疎地帯の田園はまさに荒れ果てて参りました。列島改造は生涯、消費流通、建設、交通、社会福祉の欠いて成功しないのです。じっくり計画を練り確實に遂行すべき大事業です。私は

(1) 北九州市は上下水道、住宅、公園緑地、教育と福祉施設、道路、鉄道、港湾、空港と都市機能を充実させます。

(2) 周縁沿岸の京浜域は公害に汚染されたい環境と背後の農村を守るために、工業汚染、レクリエーション、住宅の適地をきびしく区別し住民の納得のもとに開発を進めます。

(3) 田舎の遊牧地はよいベッドタウンであり、無公害の工業の移転する住地域とします。そのための急務は鉱害復旧で、従来の復旧方式のほか建設費の一割災害復旧方式を取り入れた立案を行います。また送電用の鉄道線は旅客線に敷設し油圧原線を貫通します。

三、親切な内政

(1) 生涯の低い中小企業には厚い保護政策が当分必要です。特に規制については全面再検討を加えます。小規模事業の金融には特別融資制度を四八年から実施します。

(2) 社会福祉と教育、この二つは人が人を救う最も大切な事業であり私は心算を傾けて参ります。また医療の抜本改革と所得保障の充実を必ず実現します。

また施設職員、保健看護婦等の処遇を大に改善します。

教育については政府も教組も従来のよきかきりや感傷を棄れ、新しい教育を措かざることを必要とするための努力を惜みません。

(3) 政治の谷間に於ける選挙権者、軍服の退出と功労者のための特別給付制度を拡充し防衛費削減で政治は愛情と感謝であります。私は私々としてその努力を続けたいと思ひます。

感謝のことば

みなさまのご支援を感謝いたします。昭和三十三年、初当選より、連続三期、みなさまの愛護と支援とご協力により国会議員として精一ぱい働かせていただきました。この間、歴史的偉業の神國の日本返還に際しては外務政務次官として、また昨年四月に、福祉中心の昭和四十七年度予算編成時には大蔵政務次官として、昭和の一端に参り、貴重な経験をすることができました。

政治姿勢について

すべてが順調な六〇年代に對比して、七〇年代が新たな調整の時代であることは疑いを入れません。政治の目標が成長中心から福祉中心へと変わり、国際政治も冷戦構造が壊滅して大國である日本は均衡が求められているように、世界および日本はいま歴史の日々を見るならば大きな変化の時代はさしかかっていると思ひます。

しかし変化の時代であればこそ、プロの政治には安定感と力強さ、慎重な手腕とまがきが必要になると思ひます。極端に走ることなく、現実を直視して、一歩一歩進む着実な政治姿勢が信条です。

戦後われわれがとってきた平和と繁栄の国家建設の方針は、今後とも堅持すべきであると考えます。

その手段として当面、日米安保条約を堅持すべきことはもちろんとして今後にはすべての國との物的人的交流を深めることが必要です。また日本が世界に異色ある国家として伸びるためには、今後とも「技術」を中心とした平和国家でありたいと思ひます。

これが実現するに必要とされるべき点、ゆとりある生活と高い福祉についても、経済の裏付けなくしては、これが実現する事はできません。人間中心の視点に徹底すること、国内階層、地域、それに国際間にあつて、平和な社会を実現する必要があると思ひます。

私の政策について

一、政治倫理と道徳の確立により、政治への信頼を回復し、民主主義と議会政治を守ります。
政治の現状に国民は不満を持っています。若者の声を聞かせる老人の偏見をわがものとす。温かみのある政治を実現したいと思ひます。平和と外交を推進し、国民との協力をめざします。

二、世界の平和をめぐり

通商国日本は自分の生存のため世界の平和を絶対の条件としています。当面、日米安保条約を堅持する中で、日中復交の成果を生かし、各国との一層の交流を進めます。

三、人間関係の刷新

人間関係の刷新は、各種手帳の充実、老人医療の無料化、難病対策、公害防止に全力を尽くします。幼少な生徒のため二十六歳以上老人の医療無料化、高齢福祉年金月一百万円の現現をめぐり、国民年金を共済五万円、厚生年金を月五万円の現現をめぐり、国民年金の引き上げ、身障者対策の充実を考へます。

四、戦後遺児対策

戦後遺児、傷痍者への処遇改善、および妻帯公費対等の徹底のため公害に耐える企業責任を明確に、高度汚染地域に對しては汚染物の処理規制が、国民に還元するために、去年度減税の成果は行ないます。

五、成長の成果を分かちあふ

減税の成果は行ないます。労働者、小規模事業者、若しくは、国、地方税を減じ、事業主負担を、若しくは、小規模事業者主として事業主負担制度を通ずる方法を考へます。

六、教育の正常化

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

教育の正常化を、若人に意欲を与え、豊かな人間を育てます。

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第四区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



公明党公認

くわな 治

よしはる (42才)

政治に何を望むのか

「決断と実行」「庶民の代表」をキャッチフレーズにスタートした田中内閣に私達は期待を寄せました。

ところが、この四ヶ月で田中総理が決断し実行した事は、四兆六千三百億円にのぼる

ほう大な四次防であり、我が国を戦争に巻き込む安保体制の堅持であります。

内政面をみても、列島改造論は、公害バラマキ論であり、地価高騰論であります。

また、高くなる物価、社会福祉などについてもまったく無策です。

このような田中内閣にこれ以上何を望んだらよいのでしょうか。

今こそ福祉日本への出発を

自民党政権の下で、私達は生産力は先進国になりました。しかし働く条件は中進国、社会福祉は後進国、公害と物価は最先進国という生活です。

こんども田中内閣は、大企業を大事にし、経済成長を第一として、国民の福祉は第二として進もうとしています。

私達は、人間らしく生きることができ、福祉日本を選ぶのか、人間を犠牲にして、経済第一の軍事日本を選ぶのか。重大な「政治の選択」を迫られています。

皆さん、今こそともに福祉日本、平和日本への出発をしようではありませんか。

私の三つのモットー

私は、実行力、誠実、清潔の三つをモットーに皆様とともに飛つてまいります。

七つの目標

- 一、新しい政治の潮をつくりだします。
- 二、福祉経済体制を確立します。
- 三、冷戦構造を積極的に解消し、アジアのなかでの平和日本の位置づけをしていきます。
- 四、田川方面の鉱害復旧、中高年令者の雇用促進、産炭地振興をめざします。
- 五、門司港を日中貿易の拠点とし、北九州の発展をはかります。
- 六、山田弾薬庫あと地の全面地元平和利用をめざしてまいります。
- 七、国道十号バイパスの早期実現に向つて努力いたします。

略歴

- 一、明治大学法学部卒業
- 一、福岡県議を経て、衆議院議員となる
- 一、地方制度調査会委員
- 一、衆議院地方行政委員、議院運営委員
- 一、災害対策特別委員、石炭対策特別委員
- 一、沖縄北方問題特別委員を歴任

投票はあなたがする政治です

投票日
12月10日



昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第四区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
無所属
尾形ちえのり

おがた
尾形ちえのり
(36才)

立候補のことば

「若さと誠実、豊かな国際感覚をもって、生産第一主義で動脈硬化をきたした政治に真正面からとりくみ、人間性尊重を基本とした福補優先の大衆のための政治を確立するために次の四つの約束をいたします。」

一、若さと誠実さて 真正面から政治にとりくみます

現在の政治は、あまりにも大衆から遊離し、私達とは関係のないような存在になっているのではないのでしょうか。これは政治家の政治姿勢の問題があります。迷惑をかけて後任者の出来ない政治家、政治を金儲けの手段に利用する政治家あるいは選挙の時だけ注目を集めるような言動をして当選すれば知らぬ顔をするような政治家が政治への不信感を増す原因を作っているのです。

私はこのような現政治の刷新をはかるには、若さと誠実さ、フレッシュな国際感覚をもって大衆の皆様方と手をまじえて話し合い一語に考え、誠意をもってその結果を政治に反映させ、大衆と共に歩む政治への転換をはからなくてはなりません。私は鳩山元総理大臣の提唱する友愛思想に共鳴し、全国青年の先頭に立ち、青年の船、青年の家、国際交流などの事業をすすめているなかで、全国各地のあらゆる方々と話し合い、大衆のための民主政治の理念を学びました。私は四区はじまって以来はじめての昭和二十六年生まれの二十六才、若さとバイタリティーにあふれております。動脈硬化をきたし情性的となつた政治に、私の若いエネルギーとフレッシュな感覚をぶつけ、熱意と誠実さで真正面からとりくみ、大衆による大衆のための政治を確立するために努力いたします。

二、人間性尊重の くらしやすい政治を創ります

現在の政治は生産第一主義、輸出を第一主義にたかよ、どの政党も大衆の顧みない期待を本質的に忘れたものになっています。

三、世界の平和と繁栄への 外交を推進します

私は人間性尊重を基本とし、子供には明るい未来を、お年寄には楽しい日々を、そして公害のない明るい住みやすい生活環境を創り、福補優先の政治への転換をめざします。

四、公害のない健康的で 明るい北九州の建設に努力します

私達の郷土北九州は九州経済の台所ですが、一方では公害が問題になっております。今後の改造開発には、政府、地方自治体、企業、住民の話し合いを基盤として選択的誘導、選択的開発を行い、公害の拡散を防ぎ、健康的で住みよい郷土の発展に努力します。

私の略歴

福岡県京都郡田代町立南原小学校卒業
福岡県立小倉高等学校卒業
福岡県立小倉高等学校卒業
中央大学法学部法律学科卒業
鳩山元総理の提唱する友愛運動に専念し、大衆と共に歩む民主政治の理念を学ぶ
全国商工会連合会中央講師
くらしと政治研究所所長

投票はあなたがする政治です

投票日

12月10日



(この選挙公報は、候補者から提出された原簿を写真にとってそのまま印刷したものであります。)

昭和47年12月10日執行
衆議院議員総選挙
(福岡県第四区)

選挙公報

投票日 12月10日
福岡県選挙管理委員会



衆議院議員候補者
民社党国会対策委員長

池田 禎治

62才

略歴
新聞記者
片山内閣秘書官
衆議院議員当選6回

でつかい明日をつくろう

田中首相は、その庶民性とブルジョア的行動力を買われて、今多くの話題がよりまかれていいます。

これは、岸、池田、佐藤内閣と、いずれも官僚出身の血のない政治の結果、一介の水呑み百姓から出た角さんの庶民性が話題になるのは当然でしょう。そして日本列島改造論というようなビジョンを示したこともその原因ではないでしょうか。しかし、ま国民は何十年の先か、とてつもない、予算を組むこともできない日本列島改造論よりも、まず物価を上げないでくれ、住宅難を解消してくれ、住みよい環境をつくってくれ、交通地ゴクを止めてくれと、声が満ち満ちていることを田中首相におしえてあげようではありませんか。

自民党の議席を減らして政治をカエル
そのために、今度の総選挙で自民党の議席を三〇なり五〇なりを減らして下さい。

そして自民党政権に反省させようではありませんか。不肖池田禎治にこのことを代弁して下さい。

田中首相は、果して庶民の味方となることが出来るでしょうか。

庶民のための政治をやる

私は炭鉱長屋にハゲカで生れ貧乏の限をつくりました。今でも天下三界に家を持っておりません。小倉の木町界営アパートに住んでおります。子孫に美田を残さうと思っております。

ただひたすら純潔を愛する人の熱望に呼んで、山を動かす信念と地を敲く愛の力で、革新の道を切り拓いて進みます。

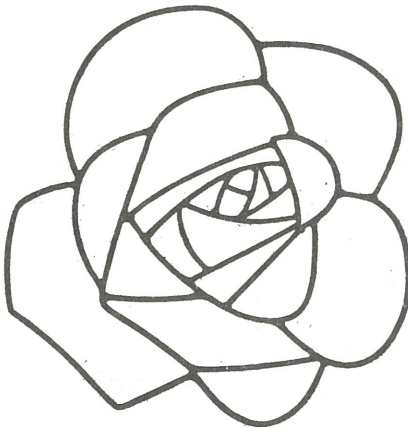
まず福祉

西欧では老人がほんとうに大切にされています。身体障害者も同様です。ところが日本では、アパートで一人暮らしの老人が、誰れにもみとられずに亡くなり、しかも一か月もたつてから発見された、という事件でもおわかりのように全くかえり見られていません。老人は自分ですんで老人になつたわけではないし働くことができなくなつたのでありません。生きています。誰れでも老人になるのです。社会に一定の貢献をして老いを迎ふながら多くの人たちが老後に不安をもっているのです。

年金は月七万円へ

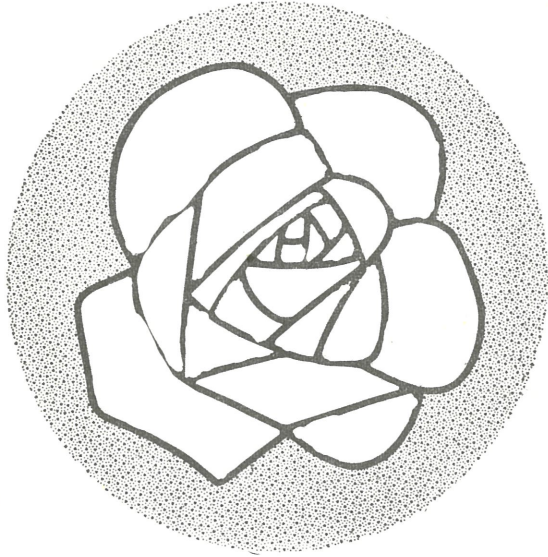
民社党は老人を大切にします。そのために五カ年計画で、六〇才になつた厚生年金は一十七万四千元に、国民年金については、一般会計基金のくり入れでその最低額を五万円に引き上げます。このため財政方式で五カ年計画で現在の積立方式から賦課方式へ改革します。ねたきり老人や孤獨な生活を強いられる老人のために五カ年後には特別養護老人ホームを現在の一五二施設から六〇〇施設に、その他養護老人ホームを八七〇施設から一二二〇施設に増大し、不安のない老後の環境づくりをすすめます。

しあわせはこの一票の自覚から



投票日 12月10日

福岡県選挙管理委員会



投票日12月10日

衆議院 議員 總選舉

最高裁判所 國民審査
裁判官

5 政見放送の実施計画および放送（映）に関する調

1 政見放送の実施放送局および回数について

候補者が政見放送を行なうことができる放送局およびその放送局で行なうことができる政見放送の回数は次のとおりです。

選挙区	放送局	放送回数	
		テレビ	ラジオ
第1区及び第3区	NHK 福岡放送局	2回	1回
	RKB 毎日放送	1回	1回
	FBS 福岡放送	1回	
第2区及び第4区	NHK 北九州放送局	2回	1回
	テレビ西日本	1回	
	九州朝日放送	1回	1回

2 政見放送の時間について

政見放送を行なう時間は候補者1人について1回につき4分30秒以内です。なお、この政見放送の直前に、アナウンサーによる候補者の経歴放送（経歴の紹介）が30秒以内で行なわれます。

3 政見放送の申込みについて

(1) 政見放送の申込みは、候補者（立候補予定者）またはその代理人（4(2)で述べますが、録音録画の日時、場所を選択できる人でなければなりません）が、次の申込み受付場所に出向いて、選挙の期日の公示（告示）のあった日の翌々日までに行なわなければなりません。

選挙区	放送局	申込み受付場所
第1区	N H K	福岡市中央区天神2丁目6番1号 NHK福岡放送局
	R K B 毎日放送 F B S 福岡放送	福岡市中央区渡辺通り4丁目1街区10号 RKB毎日放送選対本部
第2区	N H K	北九州市小倉区大門1丁目6番26号 NHK北九州放送局
	九州朝日放送 テレビ西日本	福岡市中央区長浜1丁目1番34号 九州朝日放送報道部選対本部

第 3 区	N H K	福岡市中央区天神 2 丁目 6 番 1 号 NHK福岡放送局
	F B S 福岡放送 R K B 毎日放送	福岡市博多区築港本町13番 1 号 F B S福岡放送
第 4 区	N H K	北九州市小倉区大門 1 丁目 6 番 26 号 NHK北九州放送局
	テレビ西日本 九州朝日放送	福岡市南区高宮 4 丁目 20 番 23 号 テレビ西日本報道部選対本部

(2) 選挙の期日の公示（告示）のあった日からその翌々日までに政見放送の申込みをする場合は次に掲げる書類を添えて午前 8 時 30 分から午後 5 時までの間に行なって下さい。

① 政見放送証明書（立候補届出の際選挙長が調製し交付します。）

② 経歴書（その様式は選挙管理委員会が交付します。）

(3) 選挙の期日の公示（告示）の前における政見放送の申込みは

① 供託したことを証明する書面

② 所属党派証明書（政党その他の政治団体に所属する場合に限ります。）

を提示して、次に掲げる申込み受付時間内に行なって下さい。

受付放送局		申込み受付日時
NHK	福岡放送局	11月17日 午前10時から午後4時まで
	北九州放送局	
R K B 毎日放送 九州朝日放送 テレビ西日本 F B S 福岡放送		11月18日 午前10時から正午まで

(4) (3)による申込みをした時は、候補者またはその代理人は選挙の期日の公示（告示）のあった日の翌々日の午後 5 時までに政見放送証明書および経歴書（(2)の①②を参照して下さい。）を申込みをした放送局に出向いて提出して下さい。

(5) 政見放送の申込みをする際は必ず候補者（立候補予定者）の印鑑を持参して下さい。

(6) 政見放送の申込みをしない候補者および(3)の申込みをした場合において政見放送証明書を提出しない候補者については、政見放送を行なわないこととなりますので注意して下さい。

4 政見の録音、録画について

(1) 録音、録画の回数

候補者（立候補予定者）が行なう録音、録画の回数は次のとおりです。

選挙区	放送局	録音、録画の回数		備考
		録音	録画	
第1区	NHK 福岡放送局	0回	1回	録音は録画したものを使用して行なわれます
	RKB 毎日放送	0回	1回	同上
	FBS 福岡放送		0回	録画はRKB毎日放送が録画したものを使用して行なわれます
第2区	NHK 北九州放送局	0回	1回	録音は録画したものを使用して行なわれます
	九州朝日放送	0回	1回	同上
	テレビ西日本		0回	録画は九州朝日放送が録画したものを使用して行なわれます
第3区	NHK 福岡放送局	0回	1回	録音は録画したものを使用して行なわれます
	FBS 福岡放送		1回	
	RKB 毎日放送	0回	0回	録音、録画はFBS福岡放送が録画したものを使用して行なわれます
第4区	NHK 北九州放送局	0回	1回	録音は録画したものを使用して行なわれます
	テレビ西日本		1回	
	九州朝日放送	0回	0回	録音、録画はテレビ西日本が録画したものを使用して行なわれます

(2) 録音、録画の日時、場所について

録音、録画を行なう日時、場所は政見放送の申込みの際その受付順に放送局があらかじめ定めた日時、場所のうちから候補者（立候補予定者）又は、その代理人の選択により、決定されます。候補者（立候補予定者）が正当な理由がなく、決定された録音、録画の日時、場所に向かなかつたときは、政見放送は行なわれないこととなりますので注意して下さい。

(3) 録音、録画の方法

① 録音、録画を行なう時間は打合せ、化粧、およびリハーサルの時間を含めて60分以内で

す。

- ② 録音、録画は候補者本人について行なわれ、対談、その他これに類する方法によるものは認められません。
- ③ 録音、録画を行なう場合において、他人の名誉を傷つけたり、善良な風俗を害したり、又、特定の商品の広告その他営業に関する宣伝をするなど、いやしくも、政見放送としての品位をそこなう言動はしないようにして下さい。
- ④ 録画を行なう場合においては次の点に注意して下さい。

ア 服 装

背広、和服、婦人洋装等通常着用する服装とし、特別の意味のある文字その他の意匠の入ったものは着用できません。また、今回の選挙からテレビによる政見放送はカラーによって放送されることになりましたが、録画を行なうスタジオは、おおむね、次のような配色になっておりますから、服装の色等をご考慮ください。

NHK……………放送案内と同時に配布されるカラー写真を参考にしてください。

RKB 毎日放送	}	各放送局の政見放送案内（手引）を参考にしてください。
九州朝日放送		
FBS 福岡放送		
テレビ西日本		

イ 服 飾 品

たすき、はちまき、腕章は着用できません。また、アクセサリ等の服飾品で社会通念上相当と認められるもの以外は着用できません。

ウ 持 込 品

放送用原稿以外は認められません。放送用原稿の字数は通常ニュースのアナウンスの場合は1,200字程度ですので参考にして下さい。

エ 化 粧

放送局において、テレビ用の化粧をしてもよいことになっております。放送局以外の者がする候補者（立候補予定者）の化粧については、大仰なメーキャップ、扮装的なもの以外はさしつかえありません。

オ 候補者は坐ったままで政見を録画することになっております。

- ⑤ 録音、録画の本番に入ったときは、放送設備の事故その他特別の事情がある場合を除き、とりなおしは行なわれません。
- ⑥ 録音、録画を行なう場合において政見放送の時間4分30秒を超過したときは、その録音、録画は遮断されますので注意して下さい。
- ⑦ 録音、録画を終了した後においては、その内容を変更することはできません。

5 各候補者の放送の日時

(1) 各候補者の放送の日時は

11月23日の午前10時から選挙管理委員会がくじにより定めます。このくじには、候補者、又はその代理人が立ち会うことができます。

(2) 各候補者の放送の日時が決定した後、次の事由を生じた場合は、同一時間帯の影響を受けるすべての候補者の放送が順次くりあがることとなりますので注意して下さい。

ア 候補者が死亡し、又は、候補者であることを辞したものとみなされ、その旨の告示があったとき。

イ 候補者が正当な理由がなく定められた録音又は録画の日時、場所に出向かなかったため当該候補者の放送を行わないとき。

6 その他

(1) 政見放送は定められたところにしただって行なって下さい。もし、その定めに違反したときは政見放送は行わないことがありますので、注意して下さい。

(2) 以上のほか、さらに細かい点については選挙管理委員会又は放送局におたずね下さい。

テ レ ビ 政

選挙区	日	11月 27	28	29	30	12月 1
		月	火	水	木	金
2					N H K 19:30~19:59	N H K 19:30~19:59
2		K B C 7:15~7:55	N H K 7:40~8:10	N H K 7:40~8:10		
3					N H K 7:40~8:10	N H K 7:40~8:10
4			K B C 7:15~7:45	K B C 7:15~7:45	N H K 7:40~8:10	N H K 7:40~8:10

ラ ジ オ 政

1	R K B 19:00~19:30	R K B 19:00~19:30			
2				N H K 20:33~21:00	N H K 20:33~21:00
3				N H K 20:00~20:33	N H K 20:00~20:33
4					

(注) R K Bはアール・ケー・ビー毎日

F B Sは福岡放送

見 放 送 表

2	3	4	5	6	7		
土	日	月	火	水	木		
F B S 16:30~17:30				NHK 7:40 ~8:10	RKB 10:00 ~10:30	NHK 7:40 ~8:10	RKB 10:00 ~10:30
		NHK 19:30 ~19:59	TNC 7:15 ~7:55	N H K 19:30~19:50			
F B S 7:25~8:15		R K B 10:00~10:30	R K B 10:00~10:30	N H K 19:30~20:10	N H K 19:30~20:10		
			T N C 7:15~7:45	NHK 19:30 ~19:59	TNC 7:15 :7:45	N H K 19:30~19:59	

見 放 送 表

				N H K 20:00~20:33	N H K 20:00~20:33
		K B C 6:20~6:55			
			R K B 20:30~21:00	R K B 20:30~21:00	
		N H K 20:00~20:33	NHK 20:00 ~20:33	KBC 6:20 ~6:55	K B C 6:20~6:55

KBCは九州朝日

TNCはテレビ西日本

各 候 補 者 の

第 1 区

届出番号	候補者氏名	放送の順序のくじの結果			
		テレビ		ラジオ	
		NHK 福岡放送局	RKB FBS		
1	森田 欽二	3	2		
2	いさ山 博	2	1		
3	内藤 たけのぶ	8	10		
4	なら崎 弥之助	9	3		
5	河野 正	6	5		
6	山崎 拓	7	7		
7	中村 寅太	4	8		
8	田中 昭二	5	4		
9	辻 英雄	10	9		
10	中島 茂喜	1	6		
		NHK ラジオ	について 同じ	RKB ラジオ	について 同じ

放送局 時間帯	放送日	27日	28日
		月	火

テ レ ビ

NHK 福岡	午前 7:40~8:10 (5人)		
	午後 7:30~7:59 (5人)		
RKB	午前 10:00~10:30 (5人)		
FBS	午後 4:30~5:30 (10人)		

ラ ジ オ

NHK	午後 8:00~8:33 (5人)		
RKB	午後 7:00~7:30 (5人)	1~5	6~10

(注) NHK……日本放送協会

第 2 区

届内番号	候補者氏名	放送の順序のくじの結果			
		テレビ		ラジオ	
		NHK北九 州放送局	KBC TNC		
1	三原 朝雄	7	7		
2	たがや 真稔	5	2		
3	松本 七郎	4	5		
4	大橋 敏雄	2	4		
5	田代 文久	6	1		
6	宮田 早苗	3	3		
7	森 武雄	1	6		
		NHK ラジオ	について 同じ	KBC ラジオ	について 同じ

放送局 時間帯	放送日	27日	28日
		月	火

テ レ ビ

NHK 北九州	午前 7:40~8:10 (4人)		1~4
	午後 7:30~7:59 (4人)		
KBC	午前 7:15~7:55 (7人)	1~7	
TNC	午前 7:15~7:55 (7人)		

ラ ジ オ

NHK	午後 8:33~9:00		
KBC	午後 6:20~6:55		

(注) NHK……日本放送協会

放送の順序

29日	30日	12月 1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
水	木	金	土	日	月	火	水	木

							1~5	6~10
	1~5	6~10						
							1~5	6~10
			1~10					

							1~5	6~10

RKB……アール・ケー・ビー毎日放送

FBS……福岡放送

29日	30日	12月 1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
水	木	金	土	日	月	火	水	木

5~7								
					1~4	5~7		
					1~7			

	1~4	5~7						
					1~7			

KBC……九州朝日放送

TNC……テレビ西日本